

何ができるか、考えよう、行動しよう！ 環境活動

高崎市立矢中小学校

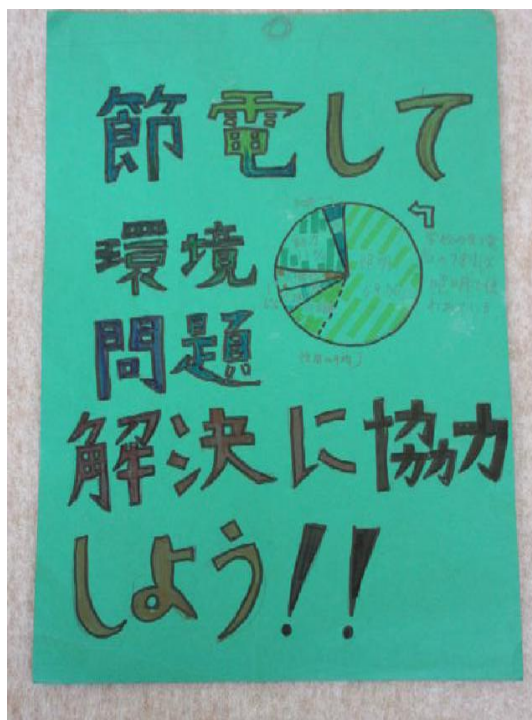
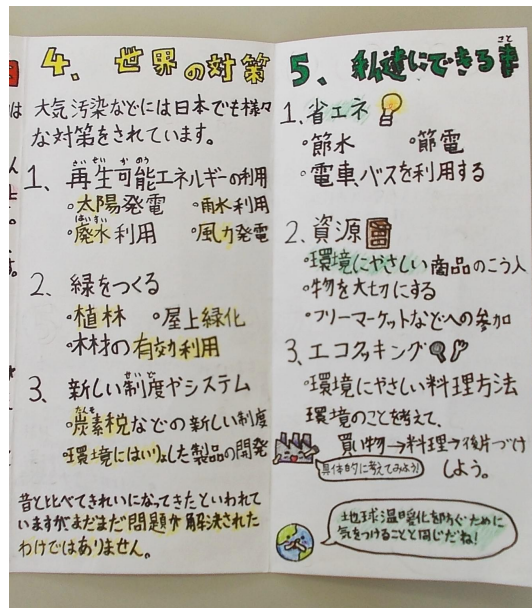
1 取り組みの概要

- ・自分たちの身近な環境に目を向け、環境問題について考えたり調べたりしながら、自分たちに何ができるかを考え、主体的に実践していくことができるように取り組んできた。

2 令和5年度の活動内容

- ①全校で楽しい学校生活を送ることができる環境にするため、清掃活動に主体的に取り組んだ。
- ②花苗の移植、水やり、草むしり、落ち葉清掃など、年間を通して花の育成や環境美化に努めた。
- ③校庭の樹木を観察したり、樹木の名札を作って木々に取り付けたりして、樹木への関心を高められるようにした。
- ④エコキャップ運動では全校児童が協力し、多くのエコキャップを集めることができた。
- ⑤4年生、5年生、6年生がそれぞれに環境問題についての学習を行い、自分のテーマを決めて調べ、発表会を行ったり、パンフレットなどにまとめたりする活動に取り組んだ。
- ⑥節水や節電、清掃用具の整理整頓のポスターを掲示し、働きかけをした。
- ⑦リサイクルゴミ、紙ゴミ、プラスチックゴミ等、ゴミの分別が習慣として定着した。





3 取り組みの見直し及び今後の活動

- 花壇の総面積が大きく、学習教材として野菜などの作物も多く育てている。花壇としての活用も合わせ、有効な活用と、よい環境を保持できるような管理の仕方等、計画的に取り組んでいく。
- 生活科，理科，総合等における環境教育の計画的な運営と，日常的な実践の継続。
- ウイルス疾患の世界的流行のため数年間中止していたが，PTAに環境美化活動への協力をお願いし，活動への理解を深めていただくとともに，児童とともに学校環境美化活動を実践することができる時間を設ける。